

3月下旬播種の乾田直播ひとめぼれの目標生育量

福島県農業総合センター 浜地域研究所

1 部門名

水稲－水稲－水稲直播、生育診断予測

2 担当者

濱名健雄、木田義信

3 要旨

これまで、4月中～下旬播種のひとめぼれにおける乾田直播栽培についての生育診断予測は作成済みであるが、現地での播種時期は3月下旬～4月上旬が主流となっている。そこで、既存の生育診断予測を前提に、ひとめぼれの3月下旬播種による乾田直播栽培の目標生育量を検討した。

- (1) 3月下旬播種のひとめぼれにおける乾田直播栽培について、成熟期、幼穂形成期の目標生育量を、既存の生育診断予測と3ヶ年の所内栽培試験の結果から表1のとおり策定した。
- (2) 収量50～55kg/a、登熟歩合80～90%、検査等級1等、倒伏指数200以下を目標とした。
- (3) 目標収量50～55kg/aを得るためには、 m^2 当たり籾数は28,000粒と判断された。穂数は370～380本/ m^2 で、既存目標より少ない。なお、稈長は既存目標値と同じ85cm以下とした。
- (4) 幼穂形成期の目標生育量は草丈で既存目標値に比べ短い60cm以下、茎数もやや少ない370～380本となった。葉色(SPAD502値)は35～37と推定された。
- (5) 播種量は乾籾0.7～0.8kg/aとし、有効茎数を確保しやすくするため、イネの葉齢2葉に入水する「早期入水」を必須技術とする。

表1 ひとめぼれにおける3月下旬播種の乾田直播栽培の生育目標値

項目	目標値	参考	
成熟期・ 収穫期	収量	50～55kg/a	50～55kg/a
	登熟歩合	80～90%	80～85%
	検査等級	1等	1等
	倒伏指数	200以下	200以下
	稈長	85cm	85cm
	穂数	370～380/ m^2	450/ m^2
	籾数	2.8万粒	2.8万粒
幼穂形成期	草丈	60cm以下	68cm
	茎数	500～530/ m^2	550/ m^2
	葉色	35～37	35～37
播種期	播種量	0.7～0.8kg/a	0.8kg/a

参考：「乾田直播「ひとめぼれ」の栄診断基準値」
(平成12年度農業試験場試験成績概要)より

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成12年度福島県農業試験場試験成績概要(2000)
- (2) 平成20年度福島県農業総合センター試験成績概要(2008)